

どっちやねんゲーム

そうやねん

ちがうねん

ECO レンジャー

1. はじめに(ゲームのねらい)

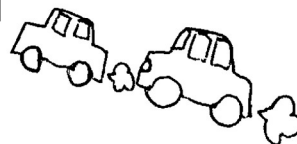
こんなこと、思ったことないですか？

環境にやさしい行動

- ・いつも100%できるわけではない
- ・本当に正しいかわからない

賛否両論のものとか
環境vs経済性・安全性の
ジレンマとか...

車でないと行けない
ところもあるし
エコバッグ"忘れた時の
買いものとか...



プラ製トレイ



衛生的かつ経済的？



そこで、こんなゲームを企画しました

- 1) 色々な「悩ましい」シチュエーションを提示して
- 2) 自分だったらどうするか・・・を考えて
そうやねん (YES) か ちがうねん (NO) で発表
- 3) 他人の意見や専門家 (?) の意見も聞く

多数派に
1ポイント

※どっちが「正しいか」ではなく、
自分ごととして考えるゲームです。

2. ゲームの進め方

①つかみ(ウォーミングアップ)



質問に「そうやねん」「ちがうねん」のカードを使って答えます。

それぞれの意見を発表する練習もします。

②しつもん



ペープサートでシチュエーションを説明

「自分だったらどうするかな?」と質問

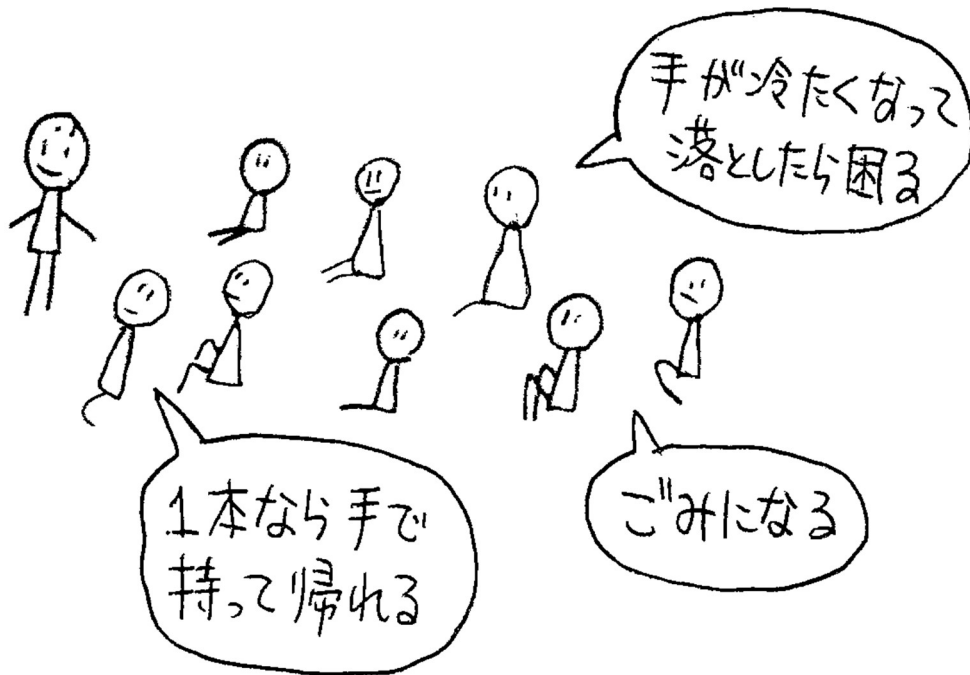
③回答「さあ、どっち?」

あくまでもゲームなので、「どっちが正しいか」には関係なく、

多数派に1ポイント!!



④理由を発表



⑤少数派にもスペシャルポイント

例えば

グループに1名だけ、

クラスで2～3人だけ、

のように「超少数派」の場合

それを選んだ理由を言えれば「スペシャルポイント」

2ポイント

⑥博士のレクチャー



レジ袋とごみの問題などについてお話をします。

(どちらかが正しいという言い方ではなく、正しい知識をベースに、自分で考えて判断することが大切だというお話をします)

⑦しつもん(その2)

- ・ ②～⑥を繰り返します。(時間によって3～4問)
- ・ そのつど、博士がやってきてお話もします。
- ・ たとえば・・・こんな問題

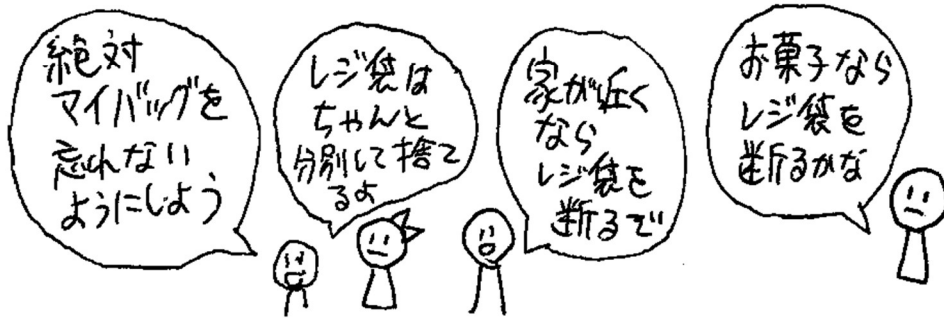


3. あらためて このゲームのねらい

どちらが正しいかではなく

自分ごととして考え、博士のお話を聞いて

例えば レジ袋の問題の場合



こんなことを考えてほしい・・・と思います。